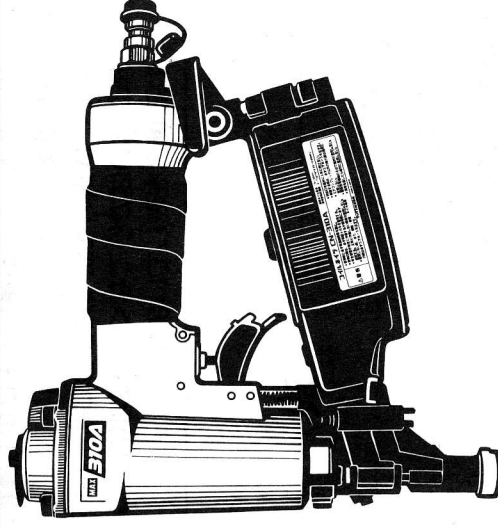


マックス釘打機コイルネイラ

CN-310A

取扱説明書



警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 使用しない時、また、調整・修理・ネイル装填の時は必ずエアホースをはずす。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する際は、必ずエアホースをはずす。
- フック使用の時は、必ずエアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

● この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
● 本機の仕様は機形向上のため、予告なしに変更することがあります。



マックス株式会社

本社	東京都中央区日本橋	箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121(代)
支店	東京都中央区日本橋	箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
支店	東京都中央区日本橋	通り東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
支店	東京都台東区	根区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
支店	東京都台東区	徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
支店	東京都福島区	玉川1-3-18	TEL(06)444-2031(代)
支店	東京都福島区	南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
支店	東京都福島区	上上1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
支店	東京都福島区	仙北町下野18-1	TEL(0196)35-5575(代)
支店	東京都福島区	小川町2-1253	TEL(0423)44-6288(代)
支店	東京都福島区	築港町字榎内2313	TEL(0286)36-3012
支店	東京都福島区	若柴297-12	TEL(0471)32-1500
支店	東京都福島区	久米591-1c7	TEL(044)844-4700(代)
支店	東京都福島区	上福元町2578-1	TEL(0992)69-5347
支店	東京都福島区	東東館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
支店	東京都福島区	松ヶ丘2-3-27	TEL(0292)55-3761(代)
支店	東京都福島区	赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123(代)
支店	東京都福島区	日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
支店	東京都福島区	大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
支店	東京都福島区	旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
支店	東京都福島区	菅部1-6-25	TEL(0263)26-4377(代)
支店	東京都福島区	青木島1-35-1	TEL(0262)85-6740(代)
支店	東京都福島区	敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
支店	東京都福島区	森戸2-15	TEL(0762)40-1871(代)
支店	東京都福島区	上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182(代)
支店	東京都福島区	和田東2-1711	TEL(0776)27-3378(代)
支店	東京都福島区	一色4-3-5	TEL(0582)47-6121(代)
支店	東京都福島区	伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
支店	東京都福島区	三木村高柳109-1	TEL(07948)3-2121(代)
支店	東京都福島区	富中1-6-14	TEL(086)264-9581(代)
支店	東京都福島区	天神町761-3	TEL(0878)66-5999
支店	東京都福島区	赤広2-1-17	TEL(0886)23-0286(代)
支店	東京都福島区	市坪北1-17-1	TEL(0899)58-4031(代)
支店	東京都福島区	宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448(代)
支店	東京都福島区	玉川1-3-18	TEL(06)446-0815
支店	東京都福島区	徳川1-11-23	TEL(052)935-8210
支店	東京都福島区	博多区上上1-5-1	TEL(092)451-6430
支店	東京都福島区	南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
支店	東京都福島区	区南観音7-11-29	TEL(022)237-0778(代)
支店	東京都福島区	中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6447

● マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358
月～金曜日 午前9時～午後6時

● 住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。



このたびは、マックス釘打機コイルネイルCN-310Aをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

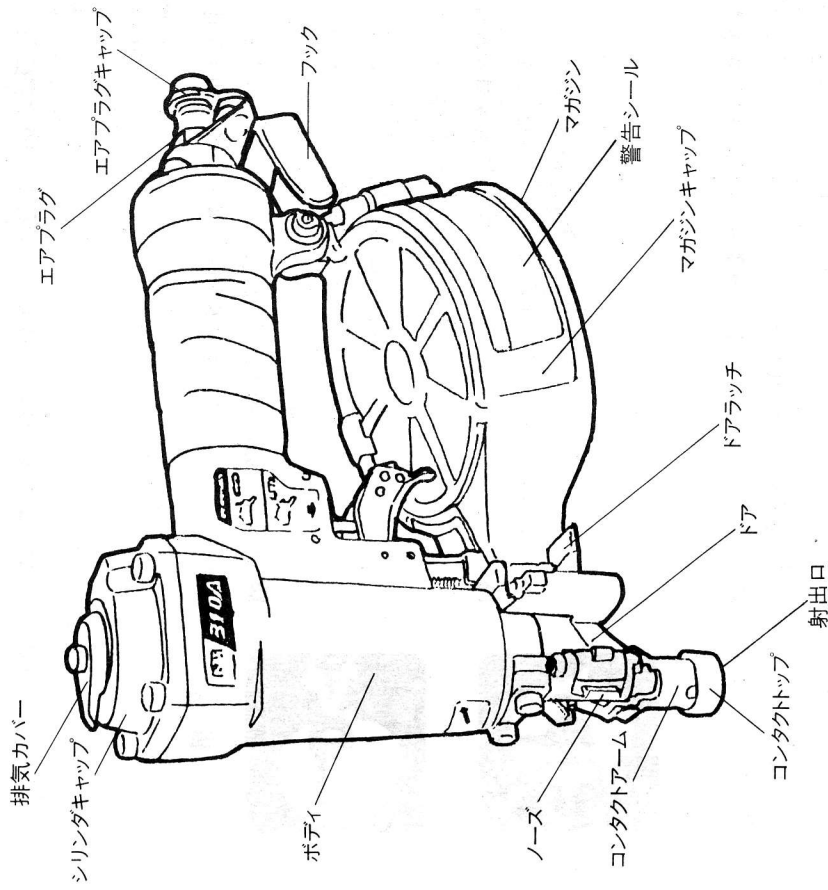
- △ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
- △ 注意：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
- また、取扱いを誤った場合には、釘打機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

目 次

1. 各部の名称	1
2. 安全作業のために	2
3. 安全装置について	10
4. 仕様及び付属品	12
5. 使用方法	14
6. 配管についての注意	18
7. エアホースの接続	19
8. アジャスタの調整と打込状態の確認	20
9. ネイルづまりの直し方	22
10. 性能を維持するために	23
11. カラ打ち時の確認事項	24

全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称



警告 安全作業のために

本機は、木材およびそれに類した材料、石膏ボードなどにネイルを打ち込むことを目的とした空気工具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

- ① 使用の際は、必ず保護メガネを着用する。
釘打作業をする時、排気エアにより粉塵が舞い上がり、万一反打ち損じのネイルがはね返り、眼に入ると危険です。作業する本人はもとより付近の人も必ず保護メガネを着用してください。
- ② 防音保護具を着用する。
釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。
- ③ 作業環境に応じた防具を着用する。
作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

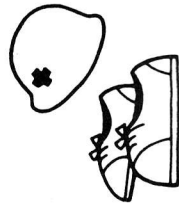
警告



①



②



③

警告 安全作業のために

④ エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の間接点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. コンタクトアームガススムーズに動くか。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマップサービスへ点検・修理に出してください。

⑤ エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

⑥ エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

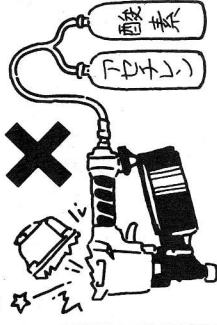
1. トリガに指をかけない。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を人体に向けない。

警告

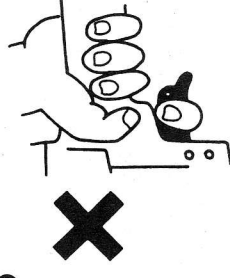
④



⑤



⑥



⑦エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がないか。
 2. エアもれや異常音がないか。
- エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音が出る場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービスマニュアルに点検・修理に出してください。

⑧安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続して確認してください。(10ページ参照)

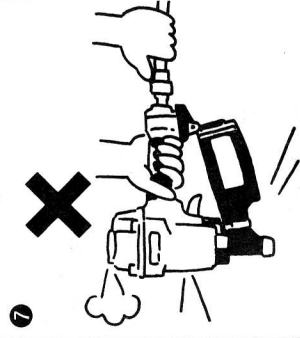
※下記の場合には安全装置が故障してしまいますから本機を絶対に使用しないでください。

1. トリガを引いただけで、作動音が出る。
 2. コンタクトアームを対象物に当たただけで、作動音が出る。
- 異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービスマニュアルに点検・修理に出してください。

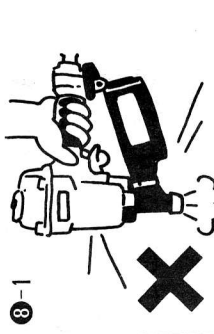
⑨指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。(13ページ参照)

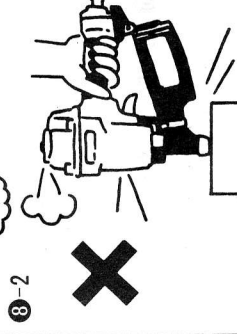
警告



⑧-1



⑧-2



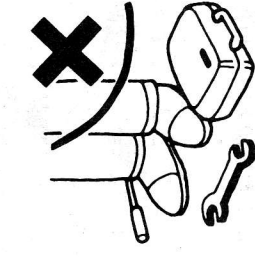
⑨



⑩作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづきなどとして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定的な姿勢で作業を行ってください。

警告



作業中

①使用空気を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は4~7kgf/cm² (0.39~0.69MPa)です。対象物によりその範囲内で調整して使用してください。7kgf/cm² (0.69MPa)を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

②射出口を絶対に人体に向けてはいけない。

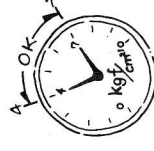
射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中は付近の人に注意をはらってください。

③向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合つて釘打作業をすると、打ち損じたネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘打ちは絶対にしないでください。

警告

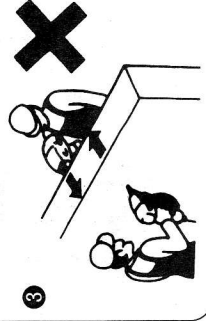
①



②



③



④ 射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったネイルや木の節などに当たった場合ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強くなり、反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

⑤ 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばで絶対に使用しないでください。

⑥ 移動する際は、必ずエアホースをはずす。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際は、必ずエアホースをはずしてください。

⑦ フック使用の時は必ずエアホースをはずす。

フック使用の時は必ずエアホースをはずしてください。

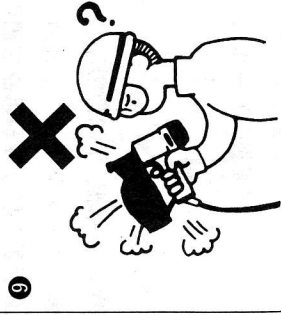
⑧ 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中のネイル装填、調整及びネイルづまりを直すときは誤ってネイルを発射すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

⑨ 異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

警告



作業後

① 作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。

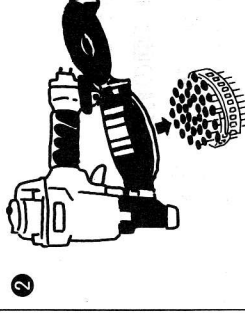
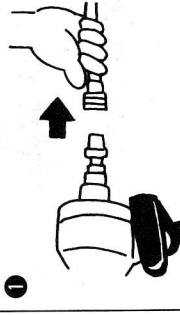
② 作業終了時には必ずネイルを抜き取る。

ネイルをマガジン内に残しておく、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ずマガジン内のネイルを抜き取ってください。

③ 本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

警告



屋外作業について

① 足場の安全性を十分に確認する。
足場を使つての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

② エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引つかつたりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。

③ 直射日光をさける。

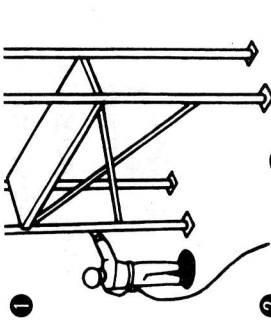
本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

打ち方

④ 水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。

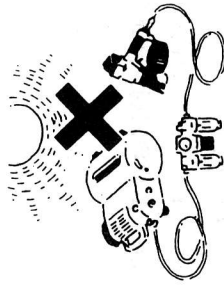
⚠ 警告



②



③



④ [水平面]



⑤ 垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

⚠ 警告

⑤ [垂直面]



⑥ [傾斜面]



⑥ 傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

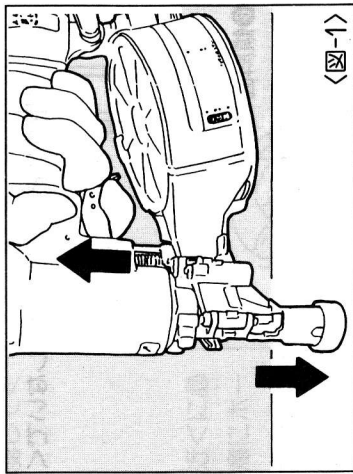


安全装置について

釘打作業の安全と仕上の美しさを確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではネイルは発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当てる動作とトリガを引くという動作が重なってはじめてネイルは発射されます。
(図-1)

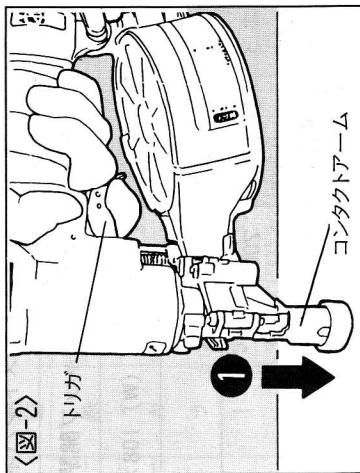


●DS/バルブ (別売部品) について

本機にはDS/バルブが別売部品として用意されています。DS/バルブは、コンタクトアームを対象物に押しあてた後、トリガを引く構造になっており、また、狙った場所に一発より一層確実に打つことができます。また、その結果として偶然の思わぬ事故から身を守り安全に作業することにつながります。

打ち方

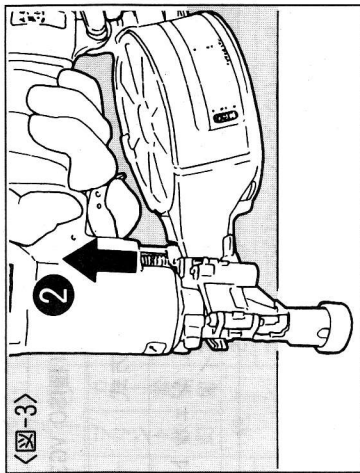
- ①ネイルを打とうとする場所にコンタクトアームの先端を押し当てます。
(図-2)
- ②トリガを引くとネイルが発射されます。
(図-3)
- ③コンタクトアームの先端を対象物よりはなし、トリガから指をはなします。



- ④①～③の動作を繰り返して釘打作業を行います。

※トリガを先に引いて、コンタクトアームの先端を対象物に押し当ててもネイルは発射されません。

- DS/バルブの取付けは、お買い求めの販売店またはマックスサービス㈱に御相談ください。



警告

- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続して確認してください。

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

- 1.トリガを引いただけで、作動音がある。
- 2.コンタクトアームを打込対象物に当てただけで、作動音がある。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

警告

- 作業前、DS/バルブが上記通りの作動をするか必ず確認する。
- DS/バルブの各部品が摩耗または消耗していかないか必ず点検する。異常がある場合は本機を使用しない。
異常がある場合はお買い求めの販売店またはマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

商品名	マックス釘打機コイルネイラ
商品記号	CN-310A
バルブ機構	ヘッドバルブ方式
ネイル送り機構	フィードピストンバンネ送り方式
マガジン形式	マガジンキャップ開閉方式
寸法	(H) 200 × (W) 108 × (L) 233mm
重量	1.05kg
ネイル装填数	200本
使用空気圧範囲	4~7kgf/cm ² (0.39~0.69MPa)
使用ホース内径	内径7mm以上、長さ30m以内
使用オイル	タービン油I種ISO VG32 (JIS1号90番)
安全装置	メカニカル方式
付属品	保護メガネ、ジェットオイル (油入)、六角棒スパナ4、垂直打ちガイド

警告

この製品は、安全のために、必ず安全装置を正しく取り付けて使用してください。安全装置が正常に動作しない場合は、必ず電源を切り、安全装置を確認してください。

この製品は、安全のために、必ず安全装置を正しく取り付けて使用してください。安全装置が正常に動作しない場合は、必ず電源を切り、安全装置を確認してください。

〈使用ネイル〉

連結方法		ブラシート連結		
連結本数		200本連結		
分類	足長さ mm	商品名	足長さ mm	
ステンレスクリュー釘	19	FSP19P7-S	19	FCP19V0-OH銅
	25	FSP25Q9-S	25	FCP25V0銅
	32	FSP32T3-S	19	FCP19P7
	25	FSP25T3-Sカップ	25	FCP25T3
	32	FSP32T3-Sカップ	32	FCP32T3
	25	FSP25Q9-Sシロ	19	FCP19P7シロ
	32	FSP32T3-Sシロ	19	FCP19P7クリュームB
	25	FSP25Q9-S OH	25	FCP25T3シロ
	32	FSP32T3-S OH	25	FCP25T3クリュームB
	25	FSP25P7-Sプリントシロ	25	FCP25T3チャヤB(新茶)
プリントクリュー釘	25	FSP25P7-SプリントクリュームB	32	FCP32T3シロ
	32	FSP32Q9-Sプリントシロ	32	FCP32T3クリュームB
	32	FSP32Q9-SプリントクリュームB	32	FCP32T3チャヤB(新茶)
	25	FSP25P7-Sケージング	25	FCP25P7カップシロ
	25	FSP25P7-Sケージングシロ	25	FCP25P7カップクリュームB
	25	FSP25P7-SケージングクリュームB	32	FCP32Q9カップシロ
	25	FSP25P7-SケージングチャヤB(新茶)	32	FCP32Q9カップクリュームB
	19	FCP19P7メッキ	25	FCP25P7プリントシロ
	25	FCP25Q9メッキ	25	FCP25P7プリントクリュームB
	32	FCP32T3メッキ	32	FCP32Q9プリントシロ
メッキ釘	25	FSP25Q9メッキ	32	FCP32Q9プリントクリュームB
	32	FSP32T3メッキ	25	FCP25P7ケージングシロ
	25	FCP25T3カップ	25	FCP25P7ケージングクリュームB
	32	FCP32T3カップ	25	FCP25P7ケージングチャヤB(新茶)
新鍍釘	25	FCP25T3-OHシンチユウ	25	FCP25V0ブラ
	32	FCP32T3-OHシンチユウ		

●銅ネイルの使用について

銅ネイル (FCP19V0-OH銅・FCP25V0-銅) は、銅板打ち専用の釘です。したがってその使用用途は、下記のような限定があります。

⚠ 注意

- 銅板打ち・軟材打ち以外には使用しないでください。
- 銅板を3枚以上重ねて実打ちしないでください。
- 使用時には本機付属のアジャスタで打込位置を十分確認の上、使用してください。

使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

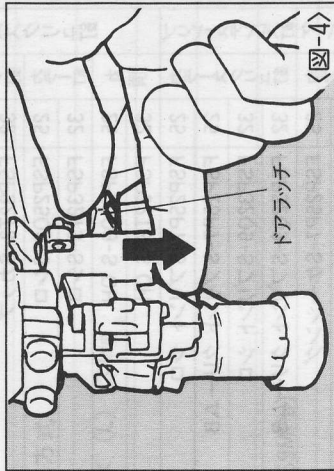
【ネイルの装填方法】

⚠ 警告

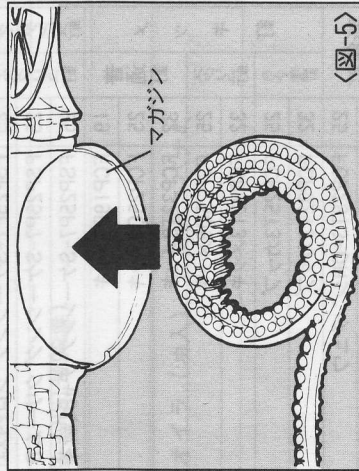
- ネイルを装填するときは、必ずエアホースをはずす。

手順

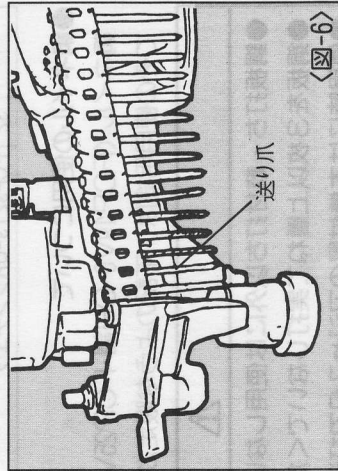
- 1 エアホースをはずします。
- 2 ドアとドアラッチに指をかけてドアラッチを下へ押しつけながら左へ開きます。 <図-4>
- 3 マガジンキャップを右へ軽く回して開きます。
- 4 ネイルをマガジン内に図のように入れます。 <図-5>
- 5 ネイルを引き出し、送り爪の溝にセットします。 <図-6>
- 6 マガジンキャップを閉じます。
- 7 ドアとドアラッチに指をかけてドアラッチを下へ押しつけながら右へ回して完全に閉じます。



<図-4>



<図-5>



<図-6>

【打ち方(連単切換レバーの使い方)】

本機は釘打作業の内容によって効果的な使い方ができるように連単切換機構を有しています。連単切換の☉は、連続打ちの事です。Ⓜは、単発打ちの事です。

単発打ちの操作方法

単発打ちとは、コンタクトアーム先端を打込対象物に押し当ててからトリガを引く操作でネイルを1本しか打たない打ち方です。主に石膏ボードなどネイル頭を面打ちに合わせたり、仕上げを重視する釘打作業に適しています。

手順

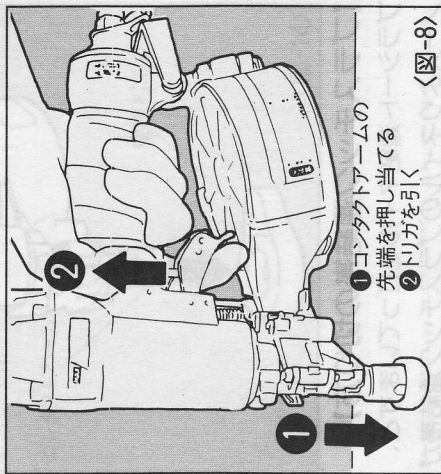
- 1 連単切換レバーを横にねかせます。 <図-7>

※ 連単切換レバーは出荷時、単発打ち用にセットしています。

- 2 ネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端をしっかりと押し当てたままトリガを引きます。 <図-8>



<図-7>



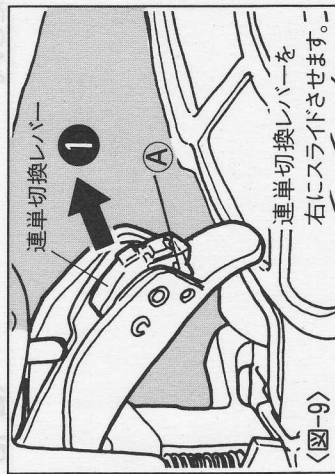
<図-8>

連続打ちの操作方法

連続打ちとは、トリガを引いたまま打込対象物にコンタクトアーム先端を打ち当てる操作をくり返すことで連続的に釘打作業ができる打ち方です。

手順

- 1 横になっている連単切換レバーを右にスライドさせます。 <図-9>

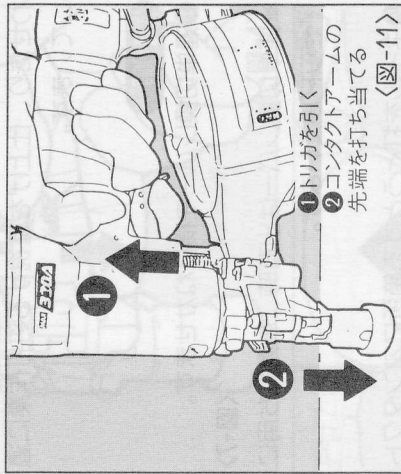


<図-9>

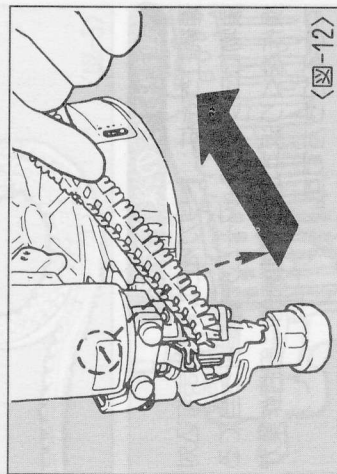
②右にスライドさせたままで立てます。
連単切換レバーの突起④をトリガの穴③に確実にセツトしてください。〈図-10〉



③トリガを引いたままネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端を打ち当てます。この操作をくり返すことで連続打ち作業ができます。〈図-11〉

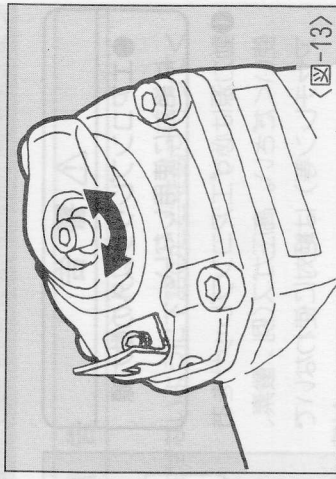


【プラスチック連結帯の切り方】
プラスチック連結帯を打っていると、ノーズよりネイルのプラスチック連結帯がでてきますので→の方向に引きちぎってください。〈図-12〉



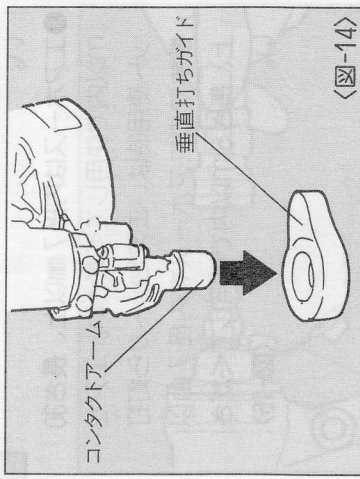
【排気方向の変え方】

シリンダキヤップ上部の排気カバーを手で回すことにより、排気方向を変えることができます。〈図-13〉
手で回らない場合は、排気口に細い鉄棒等を入れて、回してください。



【垂直打ちガイドの使い方】

コンタクトアームの先端のコンタクトトツプを取りはずし、垂直打ちガイドをしっかりと差し込んでください。〈図-14〉



⚠ 警告

- 垂直打ちガイド着脱の際は、必ず工アホースをははずす。

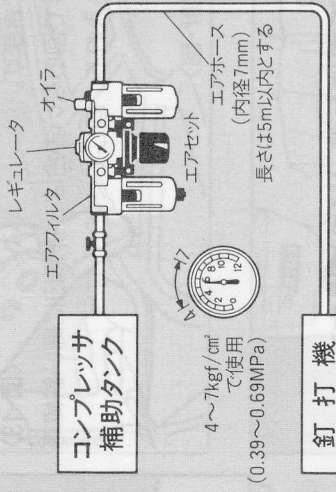
配管についての注意

警告

- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

- ①動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス(例：酸素、アセチレン等)は絶対に使わないでください。
- ②エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- ③エアホースは内径7mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径7mm以上、長さ5m以内で使用してください。 <図-15>

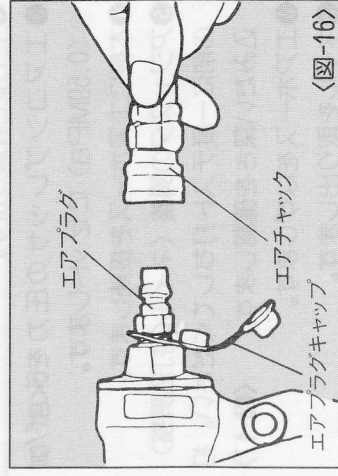
<配管図>



<図-15>

手順

- ①エアプラグキヤップをはずします。
- ②エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。 <図-16>



警告

- 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

8 アジャスタの調整と打込状態の確認

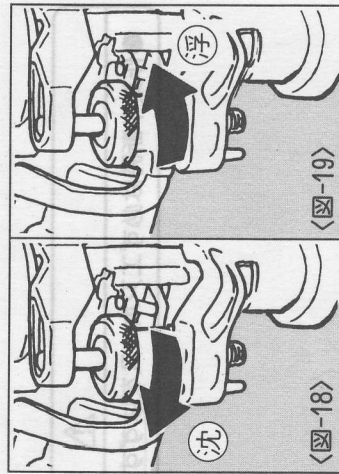
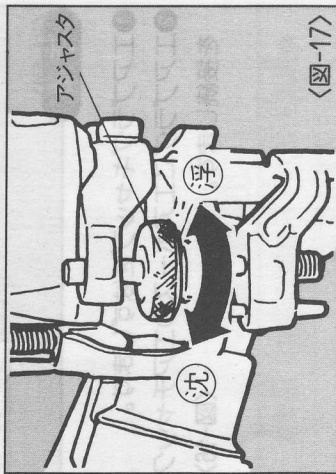
本機には打込深さを調整できるアジャスタが装備されています。打込みすぎは極端に保
持力が低下しますので作業の際には打込状態を確認して、アジャスタで深さを調整して
ください。

警告

- 調整の時は必ずエアホースをはずす。

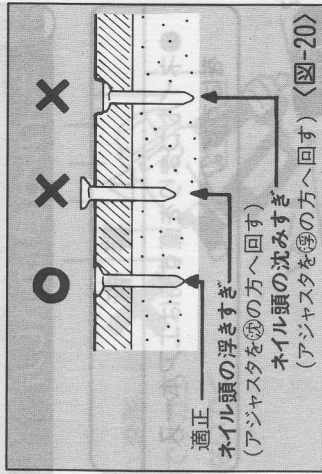
手順

- 1 エアホースをはずします。
- 2 ネイルを装填します。
- 3 エアコンプレッサの圧力を0kgf/cm² (0.09MPa) にセットします。
- 4 本機にエアホースを接続します。
- 5 アジャスタの調整 (ネイルの打込調整) の前に一度テスト打ちしてください。打込みたい深さを確認します。〈図-17〉
- 6 エアホースをはずします。
- 7 ネイルを取り出します。
- 8 アジャスタを回し調整します。
 - 矢印の方向に回すにつれて、ネイルは打込対象物に対してだんだん沈んでいきます。〈図-18〉
 - 矢印の方向に回すにつれて、ネイルは打込対象物に対してだんだん浮いてきます。〈図-19〉
- 9 本機にネイルを装填します。



- 10 エアホースを接続してさらにテスト打ちをして適正かどうか確認してください。〈図-20〉

- 1 適正であれば調整完了です。不適正であれば以上の手順をくり返してください。
- 2 適正状態が得られない場合はエアコンプレッサの空気を調整してください。



警告

- 7kgf/cm² (0.69MPa) を超えた圧力では絶対に使用しない。

警告

- ネイルづまりを直す時はエアホースをはずす。

手順

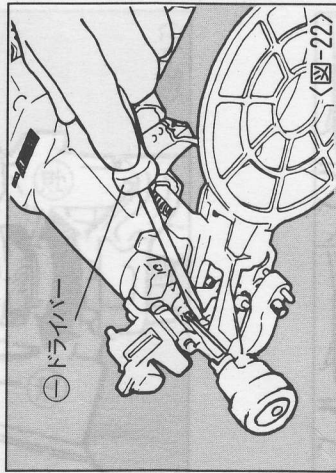
- 1 エアホースをはずします。
- 2 ネイルをマガジン内より抜き取ります。
- 3 ドアを開き、射出口より細い鉄棒を入れ、ハンマーでたたきます。 <図-21>
- 4 ノーズ内部につまったネイルを細い鉄棒やθドライバで取り除きます。



<図-21>

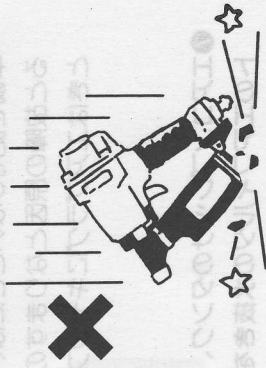
<図-22>

- 5 ネイルを送り爪に再度確実にセットして、ドアを閉じます。

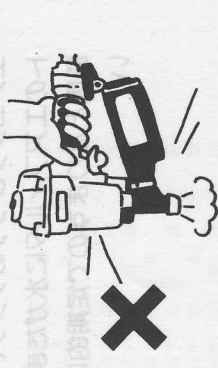


<図-22>

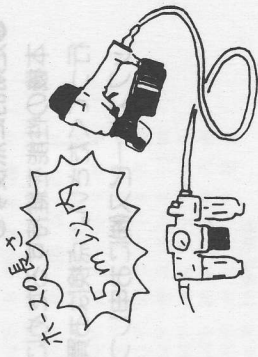
- 1 本機を大切に使う
落したり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。



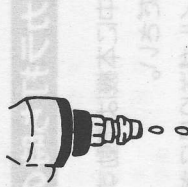
- 2 カラ打ちをしない
ネイルを装填しないでカラ打ちをくり返し行うと各部の耐久性が低下しますのでご注意ください。



- 3 エアセットを使用する
エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。



- 4 本機の水抜きをする
作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。



- 5 指定オイルを注油する
オイルはタービン油1種ISO VG32 (JIS1号90番)を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2~3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。

